

## 米国FOMCを控え、金融市場は小動き

## 主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	12月18日	12月17日	前日差
日本 日経平均株価(円)		21,115.45	21,506.88	-391.43
- CME日経平均先物(円)		20,920.00	21,085.00	-165.00
TOPIX(東証株価指数)		1,562.51	1,594.20	-31.69
米国 NYダウ(米ドル)		23,675.64	23,592.98	82.66
S&P500		2,546.16	2,545.94	0.22
ナスダック総合指数		6,783.91	6,753.73	30.18
ドイツ DAX®指数		10,740.89	10,772.20	-31.31
商品	(単位:米ドル)	12月18日	12月17日	前日差
原油 WTI先物(期近物)		45.91	49.88	-3.97
10年国債利回り	(単位:%)	12月18日	12月17日	前日差
日本		0.025	0.030	-0.005
米国		2.818	2.858	-0.040
ドイツ		0.244	0.256	-0.012
オーストラリア		2.419	2.444	-0.025
為替(対円)	(単位:円)	12月18日	12月17日	前日比%
米ドル		112.52	112.83	▲0.27
ユーロ		127.84	128.03	▲0.15
英ポンド		142.22	142.44	▲0.15
オーストラリア(豪)ドル		80.80	81.02	▲0.27
インドルピー		1.5973	1.5769	1.29
ブラジルレアル		28.786	28.915	▲0.44
トルコリラ		21.039	21.001	0.18

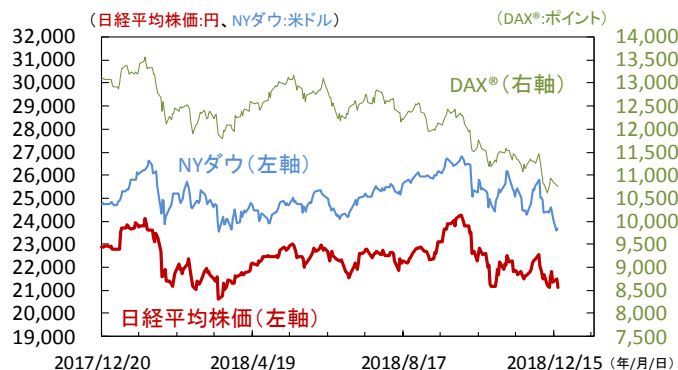
注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。前日差は前数値の比較であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。本資料は、作成時点でBloombergにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、Bloombergにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

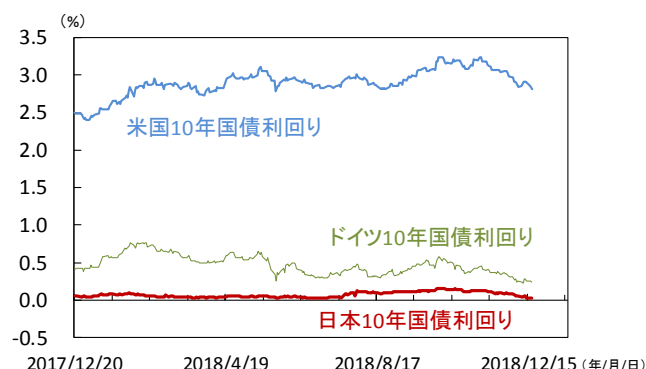
## ◆マーケットの動き:

- 国内株は大幅反落。前日の米国製造業指数と住宅市場指数の急落を受けた米景気の減速懸念や円高米ドル安進行を嫌気。中国の改革開放40周年大会で習国家主席から具体的な経済政策が示されず失望を誘う場面も。
- 米国株はFOMC(連邦公開市場委員会)を控え様子見の展開。11月の米住宅着工件数が前月比+3.2%と予想上回った点は好材料。一方、景気減速懸念に伴う原油安でS&P500エネルギー株が前日比▲2.3%と全体の重石に。
- ドイツの金利は低下。ifo景況感指数は11月102.0→12月:101.0と予想101.7を下回る低下となり景気減速を示唆。
- 豪ドルは小動き。豪中銀は12月の金融政策会合議事録を公表。高水準の家計債務、賃金低迷、住宅価格下落など個人消費のリスク要因挙げ慎重さをにじませた点は相場の重石。一方、19-21日開催の中国中央経済工作会議で景気支援策が示されるとの期待感が下支えに。

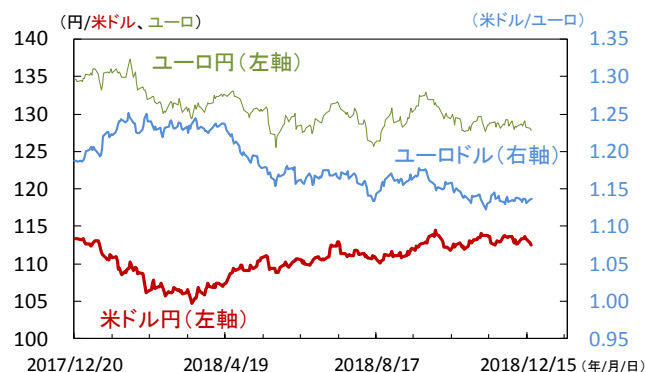
## 主要国株式の動き



## 主要国金利の動き



## 主要通貨の動き



注) 上記3図の直近値は2018年12月18日

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

## ◆本日の注目点:

## 2019年、米国の利上げ想定回数は2回? 3回?

FOMCはFF目標金利を2.25-2.5%へ引き上げる見込み。最大の焦点は、2019年の利上げ回数を前回9月時点に想定した3回から変えるか。株式市場のベストシナリオは、2019年の利上げは2回などペースを緩めるも景気見通しは良好とした場合。景気見通し悪化の場合は先行き不安があおられ、日米株は底割れのリスクも。(瀧澤)

### 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

### 本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。  
TOPIX（東証株価指数）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。  
ドイツ「DAX®」：本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会